

宮崎県

さざ波からビッグウェーブへ

宮崎県では・・・

圏域毎に官民が連携して、地域移行に関するビジョンを考え、地域移行の推進に取り組んでいる。

2 精神障害者の地域移行推進のための取組概要

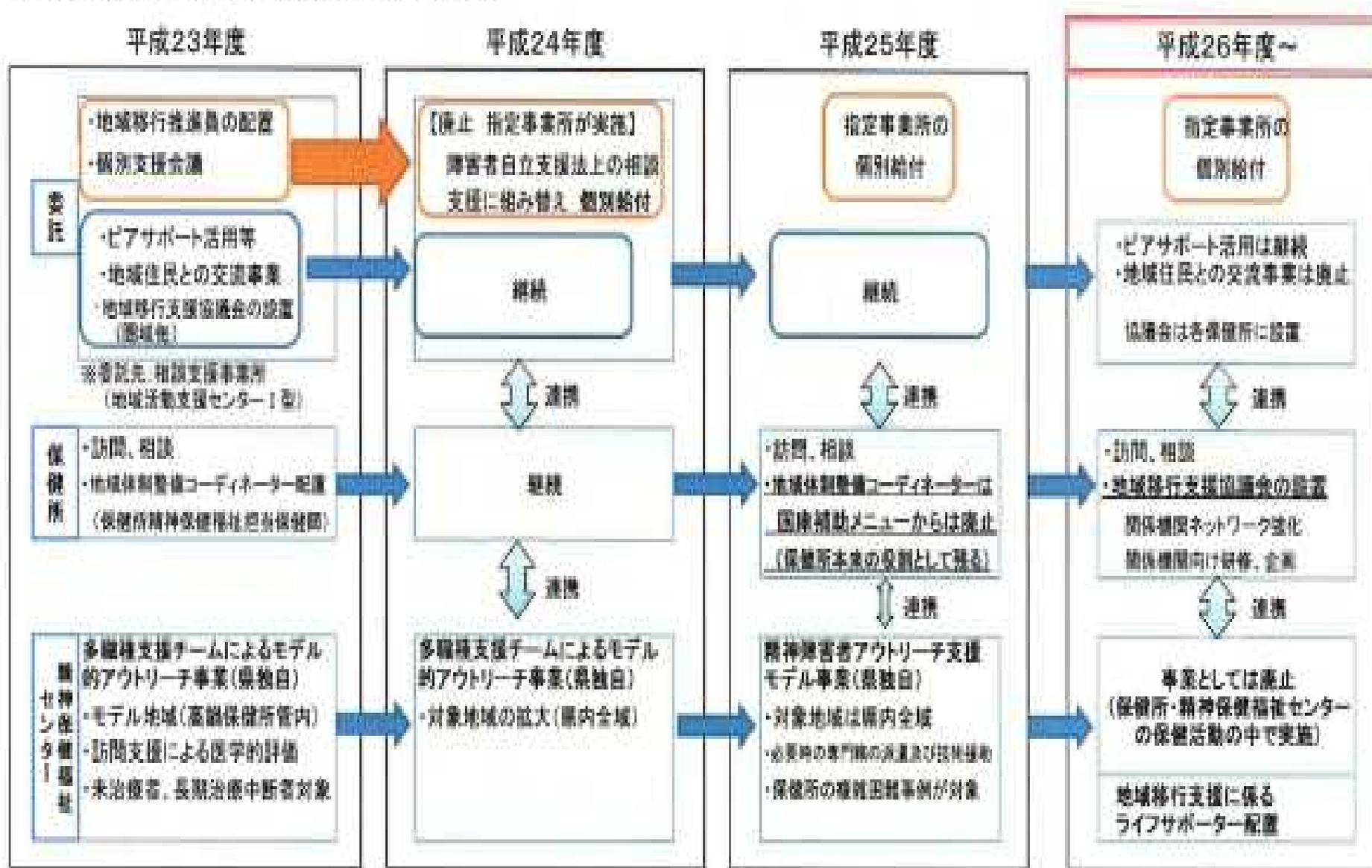
年度	24年度～25年度まで
内容	<p>①地域のサービス事業者に対する研修 精神障がい者に対する支援を実施したことのない障がい福祉サービス事業者、介護サービス事業者等に対して支援に必要な技術や知識を提供する。</p> <p>②ピアサポーター育成研修 地域で生活している障がい者を対象に研修。</p>
実施主体	①、②ともに、委託先である圏域毎の地域活動支援センター I 型において実施。
役割	圏域の管轄保健所が、研修内容等について支援をおこなった。
年度	26年度
内容	<p>地域移行支援実務者研修会 圏域毎の行政職員（保健所、市町村）、病院（看護師、PSW）、相談支援事業所の相談支援専門員等を対象に圏域毎の課題を明確にし、ビジョンを考える。さらに、各圏域で実践する。</p>
実施主体	県
役割	保健所に設置している協議会が、圏域のビジョン展開のため、関係機関と連携を図りながら地域移行を進める。

2 精神障害者の地域移行推進のための取組概要

年度	27年度
内容	地域移行支援に関する多職種連携研修会 <ul style="list-style-type: none">・実務者研修会 各圏域毎のモニタリングと多職種連携の推進を行う・多職種連携研修会 多職種連携の必要性と実践方法を学ぶ。
実施主体	主催：県精神保健福祉士会 共催：県、作業療法士会、日本精神科看護協会支部、 相談支援専門員協会
役割	保健所に設置している協議会が、圏域のビジョン展開のため、関係機関と連携を図りながら地域移行を進める。

3 精神障害者の地域移行推進のための取組経緯

【宮崎県】精神障害者地域移行支援事業体制



※ライフサポーター配置は26年度のみ

4 精神障害者の地域移行推進における強みと課題

特徴(強み)

1. 官民が連携して、各保健所圏域におけるアセスメントを実施している。
2. 多くの保健所圏域にて、医療機関内で研修会を開催している。
3. 平成26年度からの研修会等の取り組みにより、医療機関からの理解が得られている。
4. 専門職だけではなく、ピアサポーターが協議会等の会議の場に参加している。

課題

1. 保健所圏域によって、取り組みに差が生じている。
2. 地域の受け皿が少ない。
3. 在院患者の高齢化率が高い。
4. 医療機関から対象者が挙がっても、地域移行支援事業所の受け入れ体制が整っていない。

5 精神障害者の地域移行推進のための本年度のスケジュール

今年度の目標

1. 地域移行推進のための人材育成
2. 市町村支援
3. 地域移行の推進

次期(月)	実施内容	担当
7月	市町村自立支援協議会・専門部会の状況把握	県庁障がい福祉課
1月	多職種研修	精神保健福祉センター
2月	従事者研修会(圏域協議会の振り返り)	精神保健福祉センター

